

2011年3月期 第3四半期決算説明会

井関農機株式会社

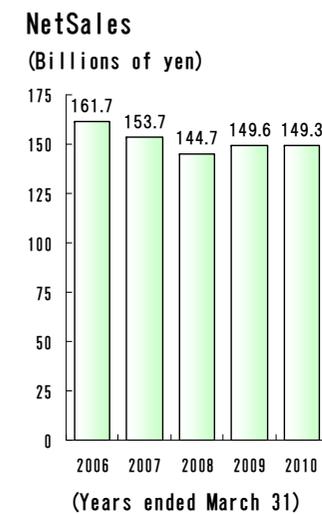
代表取締役 多田 進
専務取締役

2011年2月18日

目次

1. 2011年3月期 第3四半期業績の概要
2. 国内外市場の動向
3. 2011年3月期 通期業績予想
4. 夢ある農業応援団ISEKIの取り組み

1. 2011年3月期 第3四半期業績の概要



第3四半期業績の概要（9ヶ月累計）

（単位：億円、％）

科 目	09/3期 3Q	10/3期 3Q		11/3期 3Q		前年 同期比 増減	11/3期 3Q 計画	計画比 増減
			比率		比率			
売上高	1,146	1,079	100.0	1,121	100.0	+42	1,120	+1
(国内)	975	963	89.2	984	87.7	+21	983	+1
(海外)	171	116	10.8	137	12.3	+21	137	0
売上総利益	353	357	33.1	350	31.2	△7	354	△4
販管費	328	313	29.0	321	28.6	+8	322	△1
営業利益	25	44	4.1	29	2.6	△15	32	△3
経常利益	19	39	3.6	22	1.9	△17	24	△2
四半期純利益	10	27	2.5	6	0.6	△21	4	+2

*国内販売会社・井関農機(常州)有限公司 他

*井関農機(単体)・製造所 他

累計：1～9月

累計：4～12月

国内売上高の内訳（9ヶ月累計）

（単位：億円）

		09/3期 3Q	10/3期 3Q	11/3期 3Q	前年 同期比		11/3期 3Q 計画	計画比 増減
					増減	備考		
農業 関連事業	農業機械							
	整地機	226	215	208	△ 7	トラクタ△3 乗用管理機△3	208	0
	栽培機	113	94	98	+ 4	田植機+4	98	0
	収穫調製機	183	172	184	+12	コンバイン+12	184	0
	計	522	481	490	+ 9		490	0
	作業機・部品	229	230	243	+13	作業機+10 部品+3	243	0
	施設工事	27	65	62	△ 3		62	0
	その他農業関連	190	186	188	+ 2		187	+ 1
	計	968	962	983	+21		982	+ 1
	その他事業 計*	7	1	1	0		1	0
合計	975	963	984	+21		983	+ 1	

海外売上高の内訳（9ヶ月累計）

（単位：億円）

	09/3期 3Q	10/3期 3Q	11/3期 3Q	前年 同期比 増減	備 考	11/3期 3Q 計画	計画比 増減
北 米	49	24	42	+18	トラクタ +17	42	0
欧 州	69	38	43	+ 5	トラクタ +8 芝刈機 Δ3	43	0
ア ジ ア	9	9	6	Δ 3	田植機 Δ3	5	+ 1
中 国*	20	30	29	Δ 1	コンバイン Δ6 田植機 +5	30	Δ 1
オセアニア	8	2	3	+ 1		3	0
製品 計	155	103	123	+20		123	0
部品その他	16	13	14	+ 1		14	0
合 計	171	116	137	+21		137	0

* 中国の売上は1～9月の実績

営業利益（9ヶ月累計）

（単位：億円、%）

科目	09/3期 3Q	10/3期 3Q		11/3期 3Q		前年 同期比 増減	11/3期 3Q 計画	計画比 増減
			比率		比率			
売上高	1,146	1,079	100.0	1,121	100.0	+42	1,120	+1
売上原価	793	722	66.9	771	68.8	+49	766	+5
売上総利益	353	357	33.1	350	31.2	△7	354	△4
販管費	328	313	29.0	321	28.6	+8	322	△1
営業利益	25	44	4.1	29	2.6	△15	32	△3

※前年同期比増減要因

[増益要因]	・ 増収による粗利増	: +11
[減益要因]	・ 粗利率悪化△1.9%	: △18
	（為替売上レート差△5 人件費等の固定費増△8 資材値上がり他△5）	
	・ 販管費増	: △8
	（人件費+5 海外物流費+3）	

経常利益、四半期純利益（9ヶ月累計）

（単位：億円）

	09/3期 3Q	10/3期 3Q	11/3期 3Q	前年 同期比 増減	11/3期 3Q 計画	計画比 増減
営業利益	25	44	29	△15	32	△3
金融収支	△9	△8	△7	+1	△7	0
その他営業外収支	3	3	0	△3	△1	+1
経常利益	19	39	22	△17	24	△2
特別利益	6	0	0	0	1	△1
特別損失	△7	△2	△7	△5	△11	+4
税前利益	18	37	15	△22	14	+1
税、税調整額	△8	△10	△9	+1	△10	+1
四半期純利益	10	27	6	△21	4	+2

※前年同期比増減要因	[営業外収支]	為替差損による収支悪化	: △4
		金融収支改善+1 その他収支改善+1	: +2
[特別損失]		投資有価証券評価損	: △3
		資産除去債務に係る会計基準の適用	: △2
[税、税調整額]		税・税調整額	: +1

バランスシート

(単位：億円)

科 目	08/12	09/12	10/12	前年同期比 増 減
現金・預金	99	108	131	+23
売掛債権	290	355	302	△53
棚卸資産	414	451	405	△46
(うち製品在庫)	(259)	(305)	(270)	(△35)
その他流動資産	32	26	31	+5
固定資産	893	902	902	0
資産合計	1,728	1,842	1,771	△71
支払手形・買掛金	424	441	400	△41
借入金・社債	566	608	545	△63
その他負債	209	236	265	+29
(負債計)	(1,199)	(1,285)	(1,210)	(△75)
純資産	529	557	561	+4
(うち利益剰余金)	(50)	(67)	(67)	(0)
負債・資本合計	1,728	1,842	1,771	△71

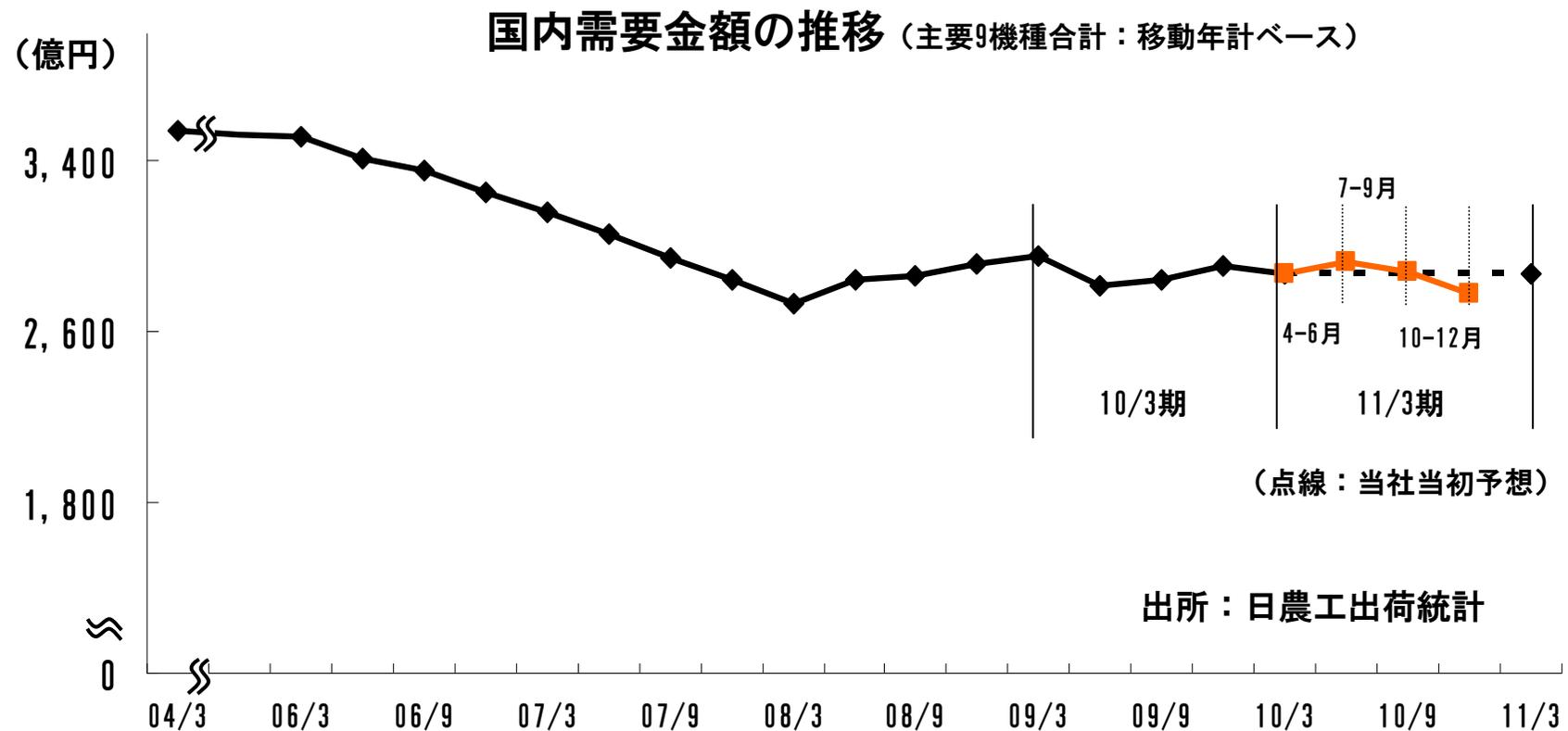
2. 国内外市場の動向



Japan HJ6120

国内農機需要の推移

農機需要の推移



国内農機市場の状況

国内農機業界出荷と当社実売

※主要9機種金額ベース、前年同期比伸長率（単位：％） 出所：日農工出荷統計

	08年 1月～12月	09年 1月～12月	10年 1月～12月
業界（出荷）	103	100	96
当社（実売）	109	95	100

戸別所得補償制度の動向と当社の取り組み

○2010年度モデル対策

- ・ 加入申請件数 133万件 (118万戸 *09年生産調整実施者推計)
- ・ 水田転作の申請面積は単価の高い新規需要米が伸びた

○2011年度本格実施の予算案 8,003億円

	11年	(10年)
1) 米に対する助成	3,320億円	(3,371億円)
2) 水田活用の所得補償交付金	2,284億円	(2,167億円)
3) 畑作物の所得補償交付金	2,123億円	
4) 加算措置	150億円	
(うち規模拡大加算)	100億円)	

新設

ほか

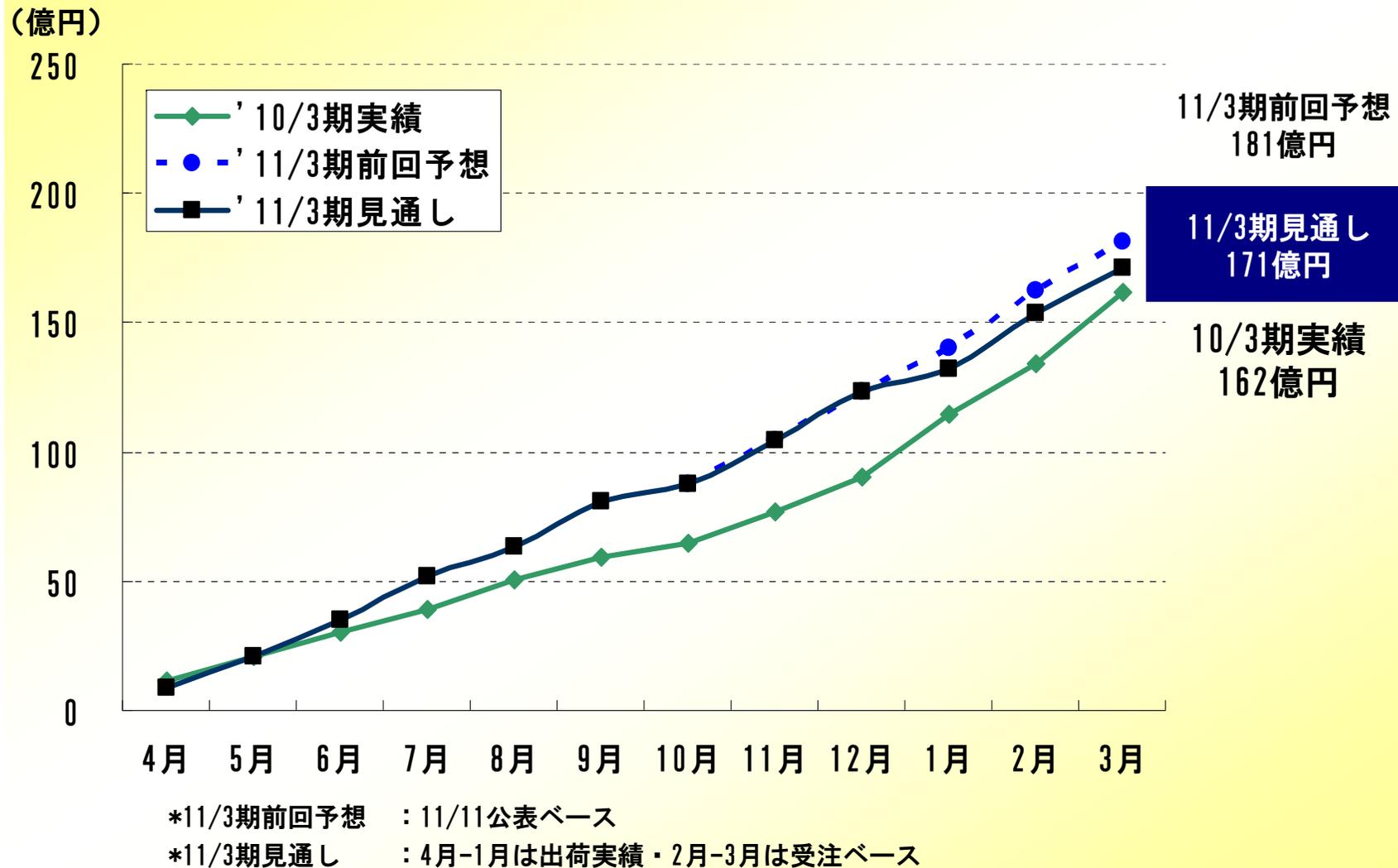
出所：農林水産省

麦、大豆など畑作物の増産に重点

○当社の取り組み

- ・ トラクタの拡販
- ・ 畑作、野菜作マーケットへの取組み強化
- ・ 強みを活かして低コスト農業を支援

海外製品売上の直近の状況



海外市場の動向（北米）

1. 北米コンパクトトラクタ市場 ※エンジン50PS (PTO40PS) 以下、芝刈機は含まない。

- ・ 2010年当初1～12月見通し（AEM）は前年比91%
- ・ 実績（1～12月）

	09/ 1～12月	10/ 1～12月	前年同期比	
			増減	伸長率
米国	80	84	4	105%
カナダ	11	11	0	99%
北米 計	90	95	5	105%

（単位：千台）

*計数は四捨五入表示で無調整

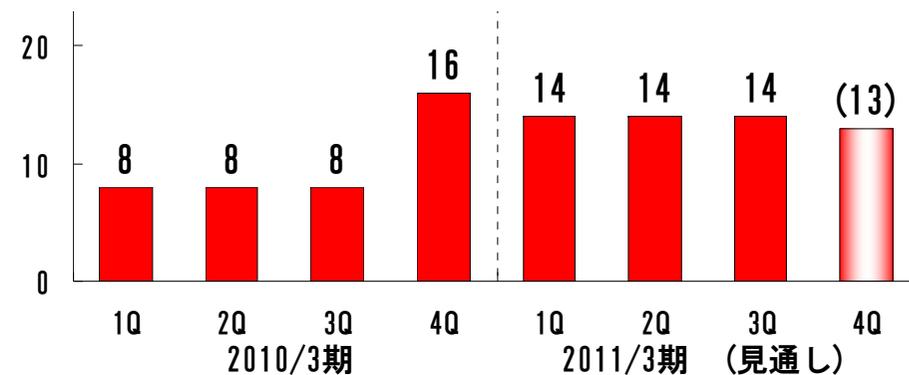
出所：AEM（米国機器製造者団体）
統計

2. 当社出荷の推移

- ・ OEM取引先の実売は、市場の伸びに対し、下回って推移。
- ・ 当社のお荷は、OEM先在庫調整の一巡により第3Qまで前年同期を大きく上回って推移。
- ・ 今年に入り受注減速。

（単位：億円）

当社出荷推移



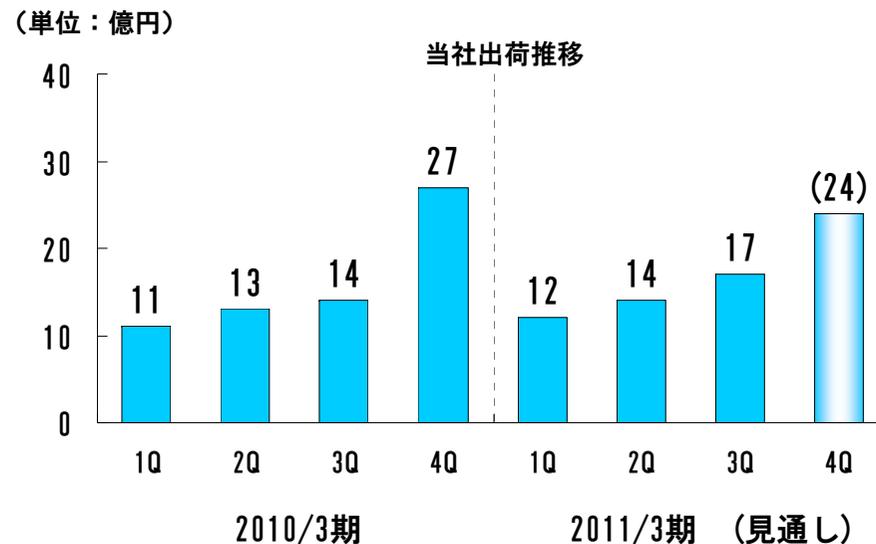
海外市場の動向（欧州）

1. 欧州市場の動向

- ・ 国によってバラツキはあるものの、実売は景気低迷の影響により低調に推移
- ・ プロ向け主体の景観整備市場は、公共予算の縮小などにより低迷
- ・ 低価格を武器にした韓国勢の攻勢が顕在化

2. 当社出荷の推移

- ・ 欧州代理店の実売は、景気低迷や厳しい為替環境により前年を下回って推移。
- ・ 当社の出荷は、前期の在庫調整を経て緩やかに回復。通期では前期を若干上回る見通し。



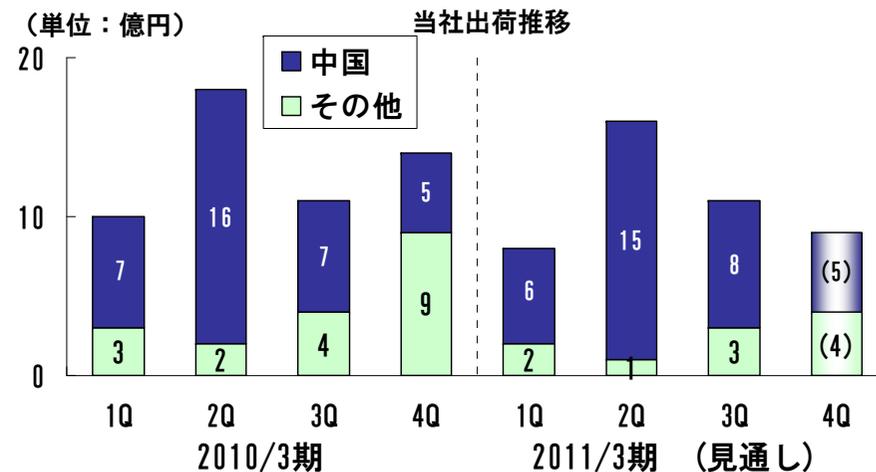
海外市場の動向（アジア）

1. アジア市場の動向

- ・ 中国 内陸部（長江中流域）への農業機械化が促進される
- ・ 韓国 ウォン安、自国産メーカーの販売強化で輸入製品は苦戦
- ・ 東南アジア 天候不順などの影響もあり稲作機械化のテンポはスロー

2. 当社製品売上の推移

- ・ 中国 田植機は乗用・歩行型とも前期を上回るも、コンバイン減少により前期比減少の見通し。
- ・ 韓国 全機種で前期を下回る。需要期前の4Qで大きく減少する見通し。
- ・ 東南アジア 円高などにより前期に続き低調。



中国市場の動向

○2004年11月「農業機械促進法」施行

[農機補助金の状況]

(単位：億元)

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
20	40	130	155	第1期 110

・ 毎年補助金増額で農業市場拡大基調続く (2010年度第1期 100)

[機械化目標]

	2010年	2015年	2020年
田植機械化率	20%	45%	60%
収穫機械化率	55%	80%	85%

水稲：長江中流域の農業機械化の促進

【出所】 農業部農業機械化管理司：「全国水稲生産機械化発展計画」

国務院：「農業機械化と農機工業の良好且つ迅速な発展の促進に関する意見」

[当社実売台数]

(単位：台)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
コンバイン	150	220	300	470	840	620
田植機	0	120	1,110	1,620	3,250	4,900
歩行型	—	50	790	1,100	2,450	3,700
乗用型	—	70	320	520	800	1,200

田植機の
実売台数
10,000台
を目指す

井関農機(常州)有限公司は生産能力の限界

東風井関農業機械(湖北)有限公司の概要

○拠点

湖北省襄陽市（旧襄樊市）
上海から内陸部へ約1,000km

○生産品目

田植機
将来的にはコンバインも生産

○生産能力

田植機年間1万台

○スケジュール



	2011年	2012年	以降
設立			
生産立上り 200台			
本格稼働開始 4,000台			
		7,000台	10,000台

3. 2011年3月期 通期業績予想



2011年3月期 通期業績予想

(単位：億円)

科 目	11/3期		増減	10/3期 実績	増減
	前回予想 11/11公表	今回予想			
売上高	1,510	1,475	△ 35	1,493	△18
(国内)	1,310	1,285	△25	1,312	△27
(海外)	200	190	△10	181	+ 9
営業利益	35	27	△ 8	45	△18
経常利益	23	17	△ 6	36	△19
当期純利益	1	2	+ 1	23	△21

【為替レート】

	米ドル	ユーロ
10/3 通期実績	93円	129円
11/3 第3Q累計	87円	113円
第4Q想定	80円	110円

通期業績予想（国内売上高の内訳）

（単位：億円）

		11/3期		増減	10/3期 実績	増減	
		前回予想 11/11公表	今回予想				
農業 関連 事業	農業機械	整地機	275	268	△ 7	277	△ 9
		栽培機	120	117	△ 3	114	+ 3
		収穫調製機	269	259	△10	257	+ 2
		計	664	644	△20	648	△ 4
		作業機・部品	312	310	△ 2	304	+ 6
		施設工事	80	80	0	111	△31
		その他農業関連	252	249	△ 3	247	+ 2
		計	1,308	1,283	△25	1,310	△27
		その他事業 計	2	2	0	2	0
		合 計	1,310	1,285	△25	1,312	△27

通期業績予想（海外売上高の内訳）

（単位：億円）

	11/3期 連結業績予想		増減	10/3期 実績	増減
	前回予想 11/11公表	今回予想			
北 米	59	55	△ 4	40	+15
欧 州	69	67	△ 2	65	+ 2
ア ジ ア	14	10	△ 4	18	△ 8
中 国	35	34	△ 1	35	△ 1
オセアニア	4	5	+ 1	4	+ 1
製品 計	181	171	△10	162	+ 9
部品その他	19	19	0	19	0
合 計	200	190	△10	181	+9

※第4Qの為替レートは、米ドル：80円、ユーロ：110円

4. 夢ある農業応援団 ISEKI の取り組み



うね内部分施用機（台形仕様）

トピックス

フード・アクション・ニッポン アワード2010
 研究開発・新技術部門で
「疎植田植機」が 優秀賞受賞

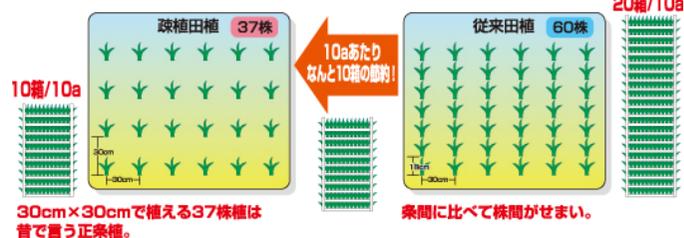
(2011年2月1日)



農家の省力化、資材費低減が可能となることから 低コスト農業が実現でき、ひいては食料自給率向上につながるものと評価された。

「疎植栽培」とは 苗を「まばら」に植える栽培技術

■疎植(37株/坪)と従来(60株/坪)の比較

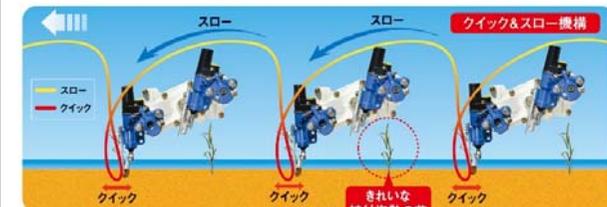


- ・ 植付株数は慣行栽培の60株前後/坪に対し37株前後
- ・ 苗代や育苗資材の削減、育苗や苗運搬・補充の労力軽減



- ・ 倒伏や病気に強く、慣行栽培とほぼ同等の収量

きれいな植付け姿勢を可能にした
「クイック&スロー機構」
 偏心ギアで回転速度を不等速に



植付の瞬間に苗が引きずられにくくなり、きれいな植付け姿勢



(従来：引きずられて、苗が傾く)

夢ある農業実現に向けての取組み

○低コストの疎植栽培普及・拡大

全国疎植実証圃面積 (ha)

2005	2006	2007	2008	2009	2010
60	443	1,140	2,348	4,546	5,519

疎植営農指導員

	H22年度 (1月現在)	H23年度 計画	H24年度 計画
疎植パートナー	496	800	1,000

- ・疎植パートナーは販売会社セールス担当者であり、疎植栽培技術を習得し、疎植栽培の提案及び農家と一緒に生育状況の管理や記録を行なう。

○農家のニーズに応える商品品揃え

- ・トラクタ：新型機TJV、TH5、TQを加えフルラインアップ
- ・作業機、野菜移植機を含めた品揃えで畑作、野菜作への対応を強化

○提案型商品による米の消費拡大

～コイン精米機～

- ・コンパクト型：スーパー、HC、DS、米穀店、産直所など、利便性の高い場所への設置を促進
- ・ハウス型：地域・郊外に増設



将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。
本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。